取付説明書　プラズマ Vプラス

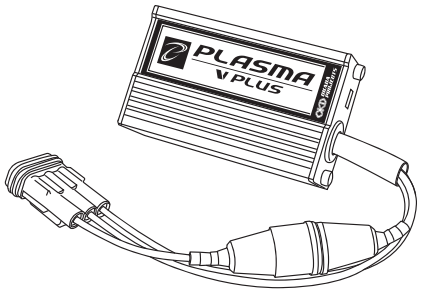
この度は、弊社製品をお買い上げいただき まことにありがとうございます。
この「取付説明書」をよくお読みの上、正しく安全に作業を実施してください。
また、取り付け上の理由、要因により発生した事故やトラブル、製品不具合等については、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
尚、本説明書は、製品を取り付けたあとも大切に保管してください。

注意事項　⚠注意　必ずお守りください！

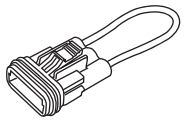
1. 指定車種以外への取り付けは絶対に行わないでください。製品の破損や車両事故を起こす原因となります。
2. 本製品は発熱しますので熱の影響を受けると不具合を起こす機器の近くへは設置しないでください。
3. 本製品の本体は完全防水となっておりませんので、直接水が当たる場所への設置は絶対に行わないでください。
4. 本製品の分解や加工等は絶対に行わないでください。製品の破損や車両事故を起こす原因となります。
5. 水平な場所でセンタースタンド等を使用して車両を確実に固定したうえで作業を行ってください。
   車両が動き出し事故を起こす原因となります。
6. エンジンを停止し、エンジンキーを抜いて作業を行ってください。
7. エンジンが充分に冷えてることを確認してから作業を行ってください。事故や火傷を起こす原因となります。
8. 安全のため、バッテリーのマイナス端子を外して作業を行ってください。尚、バッテリーのマイナス端子を取り外すと盗難防止の安全装置等が作動する車両がありますので、車両マニュアルや車両整備書に従って作業してください。
9. エンジンを始動する場合は、換気の良い場所で行ってください。排気ガスにより一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
10. 本製品の取り付けは、整備資格を有する工場やプロショップ、又は整備資格を持った方にお願いしてください。
11. 本体やワイヤーハーネスは、マフラー等の高温部、スロットルワイヤー等の可動部、燃料ホースやブレーキホース等に固定・配線しないでください。製品破損や車両火災、事故の原因となります。
12. 点火時期や燃調等を変更している車両は、本製品装着後に再調整を行なってください。エンジンを破損する原因となります。
13. 本製品はエンジンの不調を補修するものではありません。取り付け前にエンジン作動が正常であることを確認し、不具合がある場合は修理をしてから本製品の取り付けを行ってください。
14. 本製品に異常があった場合は、本製品の使用を止め、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

構成部品

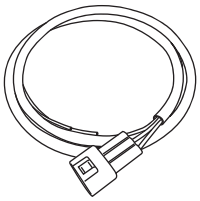
プラズマVプラス本体(ヒューズ装着済)　1



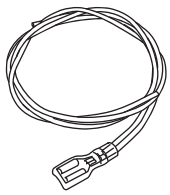
復旧バイパスコネクター　1



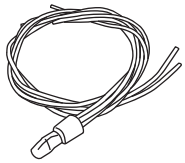
A:専用ハーネス　1



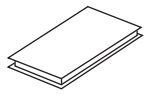
B:分岐ハーネス1　1



C:分岐ハーネス2　1



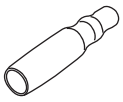
D:両面テープ　1



E:丸ギボシ/メス　6



F:丸ギボシチューブ/メス　6



G:丸ギボシ/オス　6



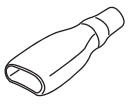
H:丸ギボシチューブ/オス　6



I:平型端子/メス　4



J:平型端子チューブ/メス　4



K:平型端子/オス　1



L:丸型端子(6mm穴)　1



無断転載を禁じます

取り付け手順

取り付け方法は以下の車種毎に変わります。ご自分のバイクに合った装着方法を行ってください。

❶ 1コイルのプラグコード付き車両へ装着する場合 ・・・ P3～　　❷ 2コイルのプラグコード付き車両へ装着する場合 ・・・ P4～

❸ 1コイルのダイレクトイグニッション車両、またはイグニッションコイルのプラス線が1本にまとまっている車両へ装着する場合 ・・・ P6～

❹ それ以外の車両へ装着する場合 ・・・ P9～

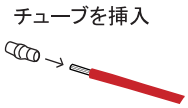
共通作業項目

[丸ギボシ、平型端子の取り付け方法]

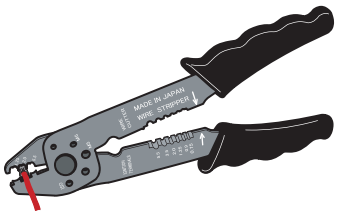
丸ギボシ、平型端子のカシメ方法は全て共通となりますので、各項目に記載しているギボシまたは端子、チューブを使用して作業を行ってください。
プラズマVプラスに使用している配線の導線外径は1.0mmとなりますので、それに合った工具にて被覆を剥いてください。



①配線被覆を約5mm剥いてください



②端子をカシメる前にチューブを配線に挿入してください
（各項目に記載してあるチューブをご使用ください）



③オープンバレル端子用圧着工具にてギボシまたは端子をカシメてください
（各項目に記載してあるギボシまたは端子をご使用ください）

④チューブを端子へ取り付けてください

[丸型端子(L)の取り付け方法]

プラズマVプラスに使用している配線の導線外径は1.0mmとなりますので、それに合った工具にて被覆を剥いてください。

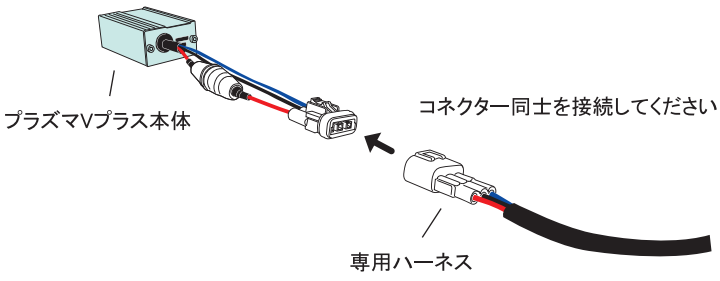


①黒線の被覆を約8mm剥いてください



②丸型端子と配線を圧着してください

[プラズマVプラス本体と専用ハーネス(A)の取り付け方法]

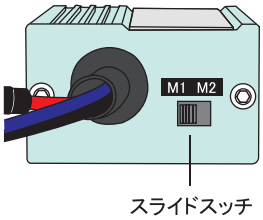


[モード切り替え方法]

本体横にあるスライドスイッチを切り替えることで
2種類の電圧モードを選択できます。

モード1 [本体記載：M1]
- ・アイドリング時　：約15.5V
- ・走行時　：約15V

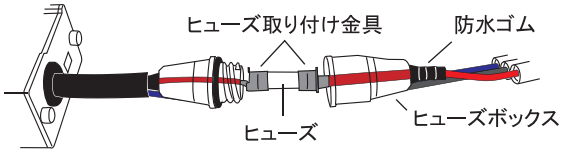
モード2 [本体記載：M2]
- ・アイドリング時　：約16.5V
- ・走行時　：約16V



[ヒューズの取り付け方法]

ご購入時にヒューズはヒューズボックスへ装着されております。
ヒューズを取り外して再度装着する場合は以下の方法にて行ってください。

①ヒューズ取り付け用金具が見えるようヒューズボックスを横に移動させてから、
ヒューズ取り付け金具にしっかりとヒューズを取り付けてください



②ヒューズボックスの防水ゴム部を持ち、ヒューズ方向へ
移動させてからヒューズボックス同士を締め付けてください

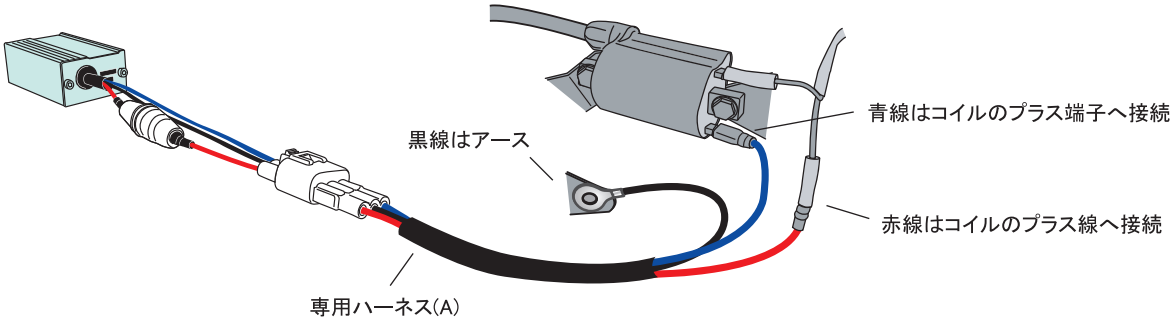
⚠ 注意 必ずお守りください！

ヒューズを取り付ける際は、必ずヒューズをヒューズ取り付け金具に取り付けてから、ヒューズボックス同士を締め付けてください。
違う方法にて取り付けを行うとヒューズが接触不良を起こし、エンジン不調となる場合があります。
また、ヒューズ取り付け金具の抑えが弱い場合は、プライヤーなどでヒューズ取り付け金具を軽く潰してから、ヒューズを取り付けてください。

無断転載を禁じます

❶ 1コイルのプラグコード付き車両へ装着する場合

装着概要



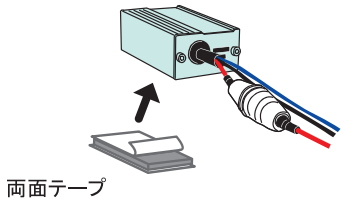
---

1 コンピューターの初期化と安全のため、バッテリーのマイナス端子を取り外してください。

2 イグニッションコイルが見えるよう、カウルや燃料タンクを取り外してください。

3 プラズマVプラス本体を、付属の両面テープ(D)を使用して水が当たらない場所へ取り付けてください。
なお、マフラー周辺部分や燃料ホース・パイプ等の燃料系付近には絶対に取り付けないでください。

付属の両面テープを使用して本体を固定してください



⚠ 注意 必ずお守りください！

・プラズマVプラス本体は完全防水となっておりませんので、水が当たる場所への取り付けは絶対に行わないでください。
・プラズマVプラスは発熱しますので熱の影響を受けると不具合を起こす機器の近くへは設置しないでください。
・エンジン・マフラー周辺の高温部、回転部、及び燃料ホース・パイプ等の燃料系統付近に固定しないでください。
製品破損や車両火災、事故の原因となります。

4 プラズマVプラス本体と専用ハーネス(A)を接続してください。

5 専用ハーネス(A)をイグニッションコイルまで取り回してください。
ハーネスが長すぎる場合はカットし、ちょうど良い長さになるように調整してください。

【 各配線は以下の箇所へ接続しますので予めご確認のうえ、配線を調整してください 】

・赤線 ・・・ イグニッションコイルのプラス線(プラス端子に接続されている線)と接続します
・青線 ・・・ イグニッションコイルのプラス端子へ接続します
・黒線 ・・・ エンジン又はフレームへアース接続します

⚠ 注意 配線長さにご注意ください！

専用ハーネスの黒線はアース線となります。青線や赤線と同じ長さでカットしてしまうと短くなってしまう場合がありますので、取り付ける位置を決めた後にカットしてください。

⚠ 注意 必ずお守りください！

専用ハーネスはエンジン・マフラー周辺の高温部、回転部、及び燃料ホース・パイプ等の燃料系統付近に配線しないでください。製品破損や車両火災、事故の原因となります。

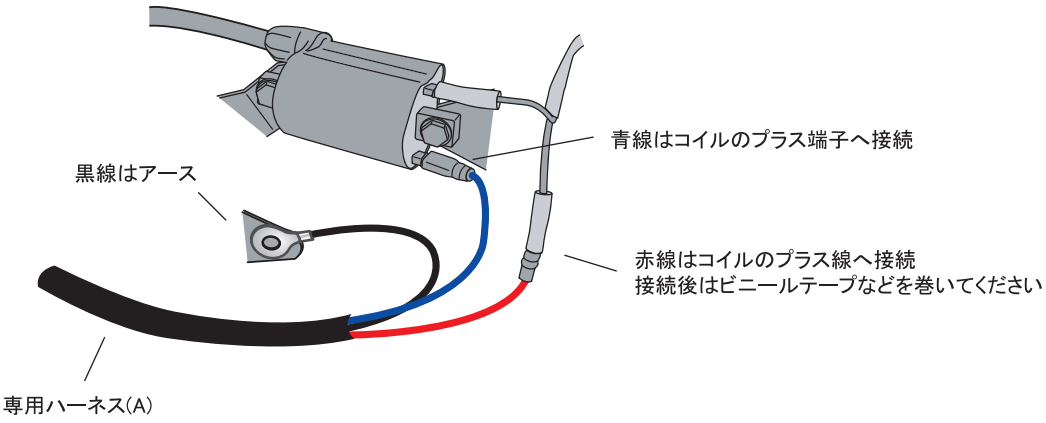
6 専用ハーネス(A)の赤線に平型端子/オス(K)と丸ギボシチューブ/オス(H)を取り付けてください。

7 専用ハーネス(A)の青線に平型端子/メス(Ⅰ)と平型端子チューブ/メス(J)を取り付けてください。

8 専用ハーネス(A)の黒線に丸型端子(L)を取り付けてください。

無断転載を禁じます

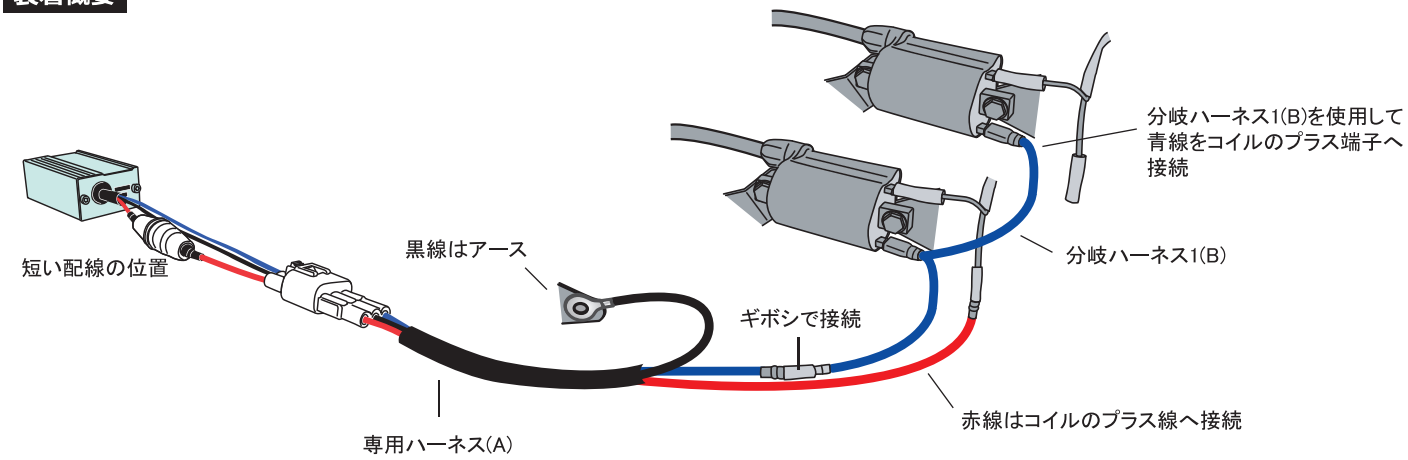
9 下図を参考にそれぞれの線を取り付けてください。



10 取り付けが正常であれば、イグニッションキーをONにするとプラズマVプラス本体のLEDが点灯します。
LEDが点灯している場合は、エンジンを始動して異常のないことを確認して下さい。
LEDが点灯しない場合は取り付けに問題がありますので、再度取り付け方法のご確認を行ってください。

② 2コイルのプラグコード付き車両へ装着する場合

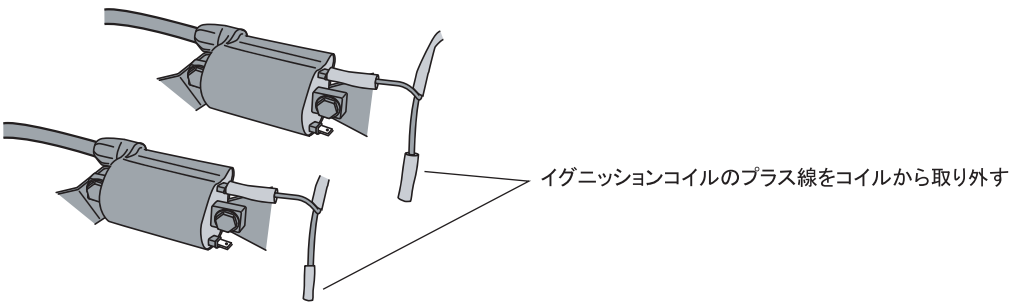
装着概要



1 コンピューターの初期化と安全のため、バッテリーのマイナス端子を取り外してください。

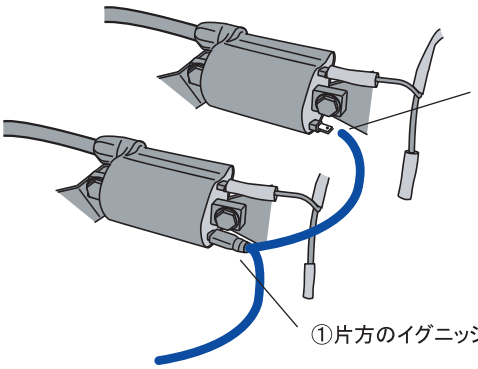
2 イグニッションコイルが見えるよう、カウルや燃料タンクを取り外してください。

3 イグニッションコイルのプラス線をイグニッションコイルから取り外してください。



無断転載を禁じます

4 分岐用ハーネス1(B)の平型端子/メスをイグニッションコイルのプラス端子へ接続してください。
分岐用ハーネス1の長い配線をもう一つのイグニッションコイルのプラス端子まで取り回し、長すぎる場合はちょうど良い長さになるようカットしてください。



②分岐用ハーネス1の長い配線をもう一つのイグニッションコイルのプラス端子まで取り回し、長さを調整してください。

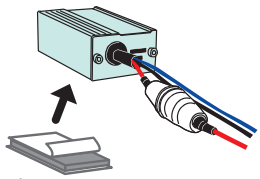
①片方のイグニッションコイルのプラス端子に分岐ハーネス1の平型端子/メスを取り付けて下さい。

5 4項にて長さの調整を行った分岐ハーネス1(B)の長い配線に平型端子/メス(Ⅰ)と平型端子チューブ/メス(J)を取り付けてください。

6 分岐ハーネス1(B)の短い配線に丸ギボシ/オス(G)と丸ギボシチューブ/オス(H)を取り付けてください。

7 プラズマVプラス本体を、付属の両面テープ(D)を使用して水が当たらない場所へ取り付けてください。
なお、マフラー周辺部分や燃料ホース・パイプ等の燃料系付近には絶対に取り付けないでください。

付属の両面テープを使用して本体を固定してください



両面テープ

⚠ 注意 必ずお守りください！

・プラズマVプラス本体は完全防水となっておりませんので、水が当たる場所への取り付けは絶対に行わないでください。
・プラズマVプラスは発熱しますので熱の影響を受けると不具合を起こす機器の近くへは設置しないでください。
・エンジン・マフラー周辺の高温部、回転部、及び燃料ホース・パイプ等の燃料系統付近に固定しないでください。
製品破損や車両火災、事故の原因となります。

8 プラズマVプラス本体と専用ハーネス(A)を接続してください。

9 専用ハーネス(A)を4項で取り付けた分岐ハーネス1(B)の短い配線の位置まで取り回してください。
ハーネスが長すぎる場合はカットし、ちょうど良い長さになるように調整してください。

【 各配線は以下の箇所へ接続しますので予めご確認のうえ、配線を調整してください 】

・赤線 ・・・ イグニッションコイルのプラス線(プラス端子に接続されている線)と接続します
・青線 ・・・ 6項にて取り付けた分岐ハーネス1(B)の短い配線の丸ギボシ/オスと接続します
・黒線 ・・・ エンジン又はフレームへアース接続します

⚠ 注意 配線長さにご注意ください！

専用ハーネスの黒線はアース線となります。青線や赤線と同じ長さでカットしてしまうと短くなってしまう場合がありますので、取り付ける位置を決めた後にカットしてください。

⚠ 注意 必ずお守りください！

専用ハーネスはエンジン・マフラー周辺の高温部、回転部、及び燃料ホース・パイプ等の燃料系統付近に配線しないでください。製品破損や車両火災、事故の原因となります。

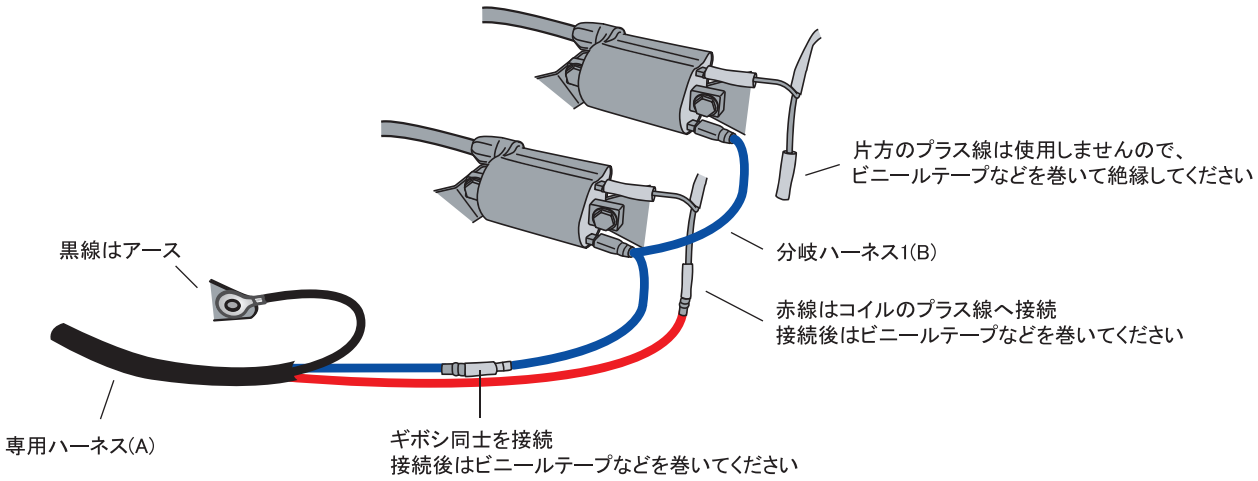
10 専用ハーネス(A)の赤線に平型端子/オス(K)と丸ギボシチューブ/オス(H)を取り付けてください。

11 専用ハーネス(A)の青線に丸ギボシ/メス(E)と丸ギボシチューブ/メス(F)を取り付けてください。

12 専用ハーネス(A)の黒線に丸型端子(L)を取り付けてください。

無断転載を禁じます

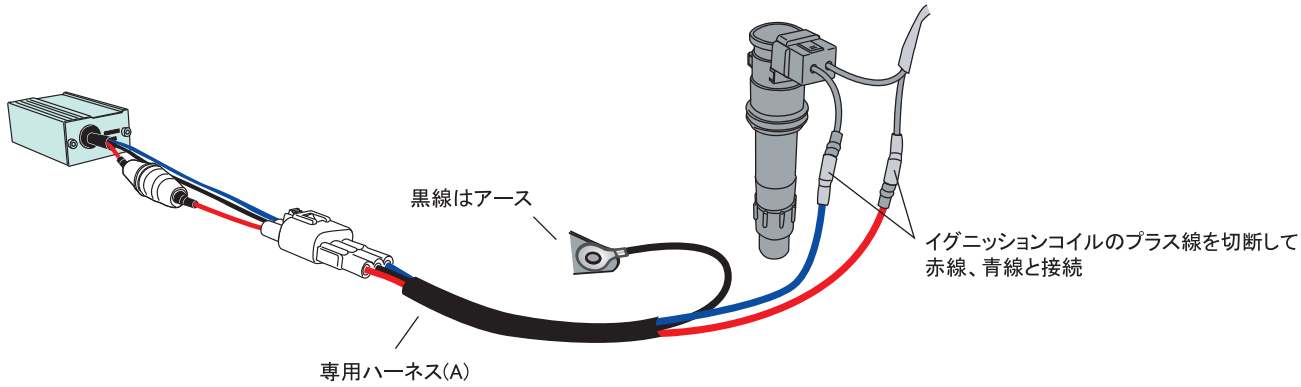
9 下図を参考にそれぞれの線を取り付けてください。



10 取り付けが正常であれば、イグニッションキーをONにするとプラズマVプラス本体のLEDが点灯します。
LEDが点灯している場合は、エンジンを始動して異常のないことを確認して下さい。
LEDが点灯しない場合は取り付けに問題がありますので、再度取り付け方法のご確認を行ってください。

③ 1コイルのダイレクトイグニッション車両、またはイグニッションコイルのプラス線が1本にまとまっている車両へ装着する場合

装着概要 ［1コイルのダイレクトイグニッション車両の場合］

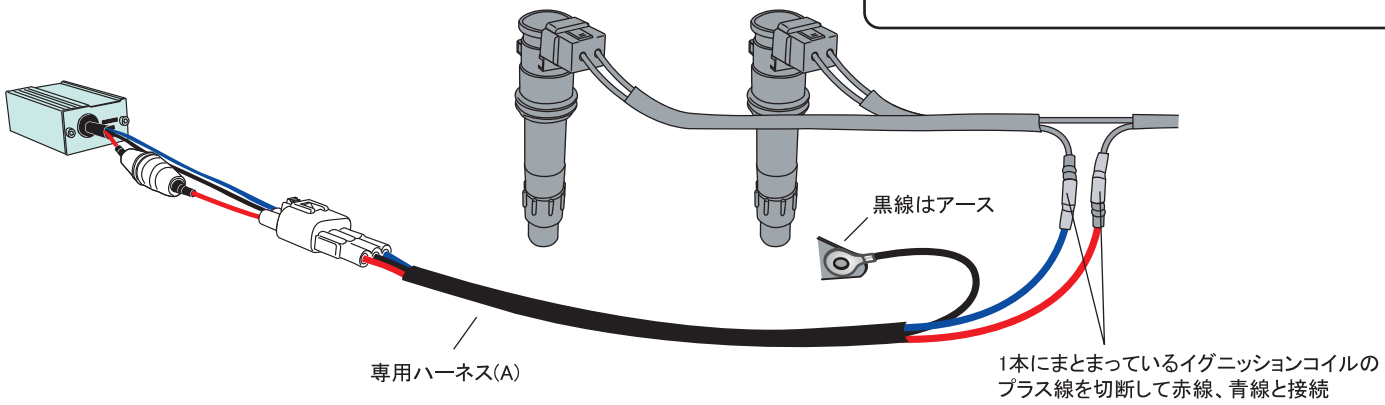


装着概要 ［イグニッションコイルのプラス線が1本にまとまっている車両の場合］

※説明の図は2コイルとなりますが、3～4コイルについても同様の作業を行ってください

⚠ 注意 必ずお守りください！

イグニッションコイルのプラス線が1本にまとまっているか分からない場合は絶対にこの取り付け方法を行わないでください。また、切断を行う配線がイグニッションコイル以外の機器へも電源供給を行っている場合も、この取り付け方法を絶対に行わないでください。



無断転載を禁じます

1 コンピューターの初期化と安全のため、バッテリーのマイナス端子を取り外してください。

2 イグニッションコイルが見えるよう、カウルや燃料タンクを取り外してください。

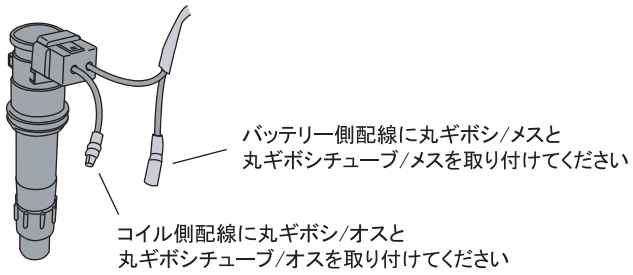
3 イグニッションコイルのプラス線を切断して丸ギボシを取り付けます。
以下の通りに作業を行ってください。

[1コイルのダイレクトイグニッション車両の場合]

①イグニッションコイルのプラス線を切断します。
この時、コイル側の配線が短くなりすぎないようご注意ください。

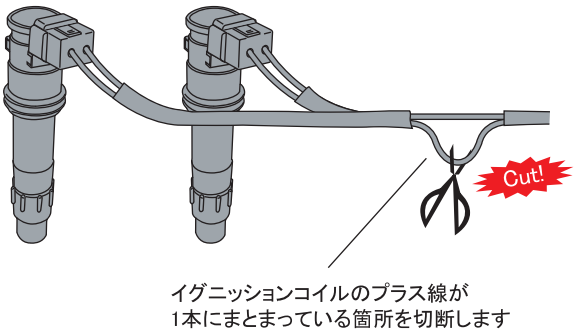


②コイル側の配線に丸ギボシ/オス(G)と丸ギボシチューブ/オス(H)を取り付けてください。バッテリー側の配線に丸ギボシ/メス(E)と丸ギボシチューブ/メス(F)を取り付けてください。

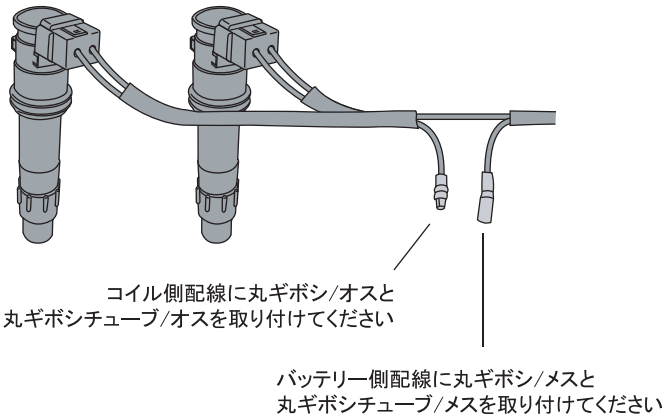


[イグニッションコイルのプラス線が1本にまとまっている車両の場合]

①イグニッションコイルのプラス線を切断します。

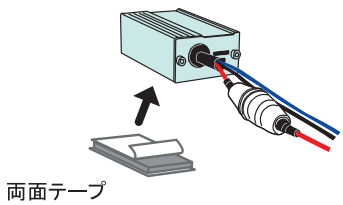


②コイル側の配線に丸ギボシ/オス(G)と丸ギボシチューブ/オス(H)を取り付けてください。バッテリー側の配線に丸ギボシ/メス(E)と丸ギボシチューブ/メス(F)を取り付けてください。



4 プラズマVプラス本体を、付属の両面テープ(D)を使用して水が当たらない場所へ取り付けてください。
なお、マフラー周辺部分や燃料ホース・パイプ等の燃料系付近には絶対に取り付けないでください。

付属の両面テープを使用して本体を固定してください



⚠ 注意 必ずお守りください！

- プラズマVプラス本体は完全防水となっておりませんので、水が当たる場所への取り付けは絶対に行わないでください。
- プラズマVプラスは発熱しますので熱の影響を受けると不具合を起こす機器の近くへは設置しないでください。
- エンジン・マフラー周辺の高温部、回転部、及び燃料ホース・パイプ等の燃料系統付近に固定しないでください。
製品破損や車両火災、事故の原因となります。

5 プラズマVプラス本体と専用ハーネス(A)を接続してください。

無断転載を禁じます

6 専用ハーネス(A)を3項で取り付けた丸ギボシの位置まで取り回してください。
ハーネスが長すぎる場合はカットし、ちょうど良い長さになるように調整してください。

【 各配線は以下の箇所へ接続しますので予めご確認のうえ、配線を調整してください 】

・赤線　・・・　3項で取り付けた丸ギボシ/メスと接続します
・青線　・・・　3項で取り付けた丸ギボシ/オスと接続します
・黒線　・・・　エンジン又はフレームへアース接続します

⚠ 注意　配線長さにご注意ください！

専用ハーネスの黒線はアース線となります。青線や赤線と同じ長さでカットしてしまうと短くなってしまう場合がありますので、取り付ける位置を決めた後にカットしてください。

⚠ 注意　必ずお守りください！

専用ハーネスはエンジン・マフラー周辺の高温部、回転部、及び燃料ホース・パイプ等の燃料系統付近に配線しないでください。製品破損や車両火災、事故の原因となります。

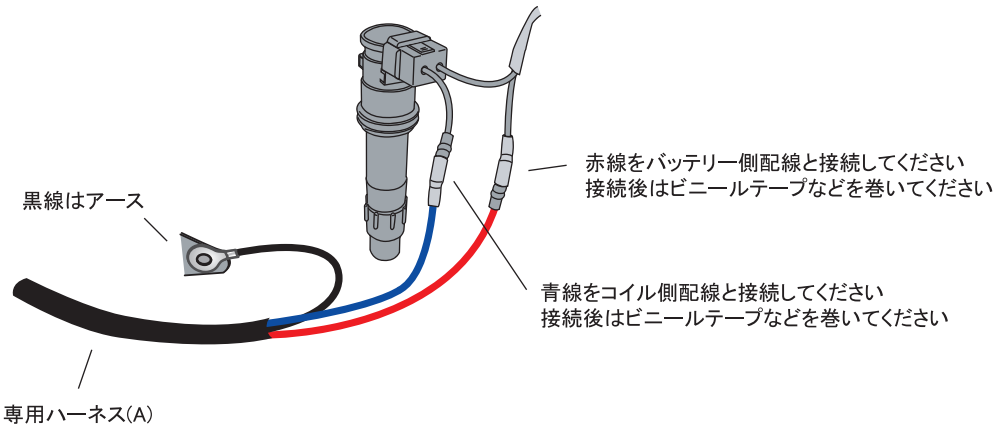
7 専用ハーネス(A)の赤線に丸ギボシ/オス(G)と丸ギボシチューブ/オス(H)を取り付けてください。

8 専用ハーネス(A)の青線に丸ギボシ/メス(E)と丸ギボシチューブ/メス(F)を取り付けてください。

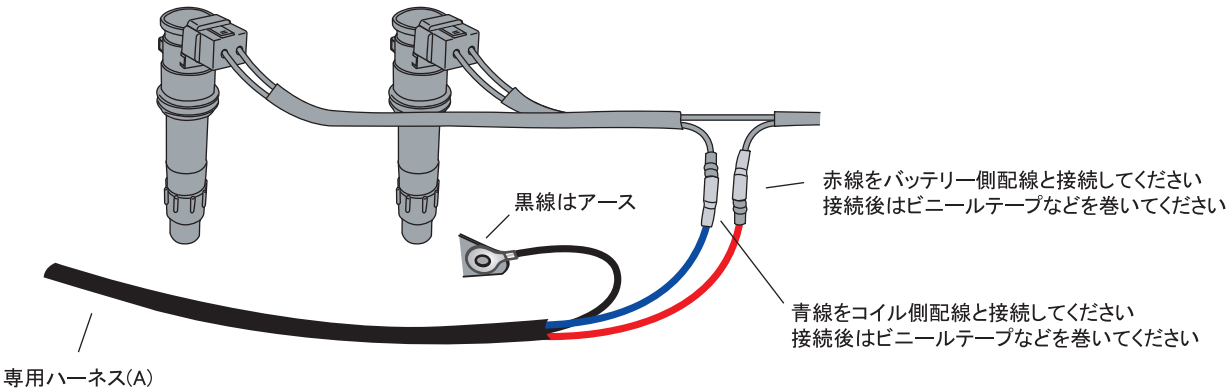
9 専用ハーネス(A)の黒線に丸型端子(L)を取り付けてください。

10 下図を参考にそれぞれの線を取り付けてください。

[1コイルのダイレクトイグニッション車両の場合]



[イグニッションコイルのプラス線が1本にまとまっている車両の場合]



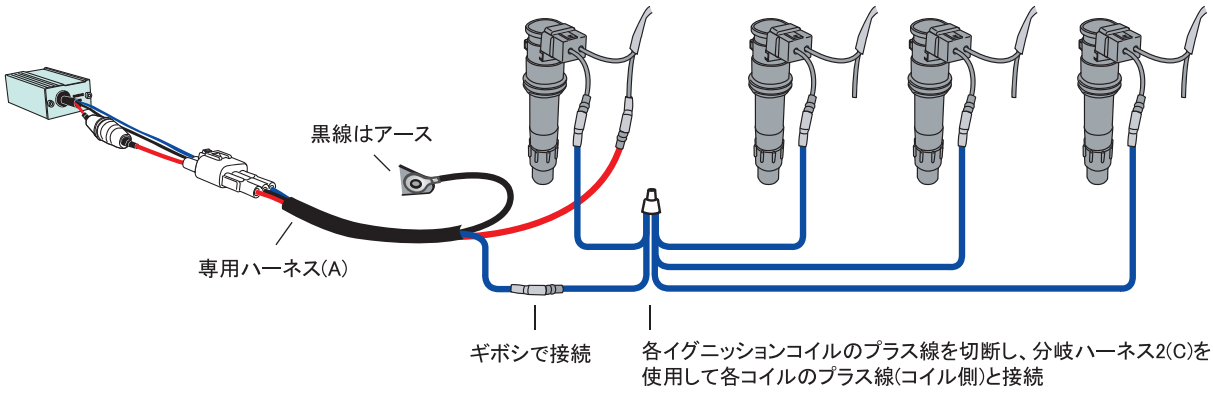
10 取り付けが正常であれば、イグニッションキーをONにするとプラズマVプラス本体のLEDが点灯します。
LEDが点灯している場合は、エンジンを始動して異常のないことを確認して下さい。
LEDが点灯しない場合は取り付けに問題がありますので、再度取り付け方法のご確認を行ってください。

無断転載を禁じます

④ それ以外の車両へ装着する場合

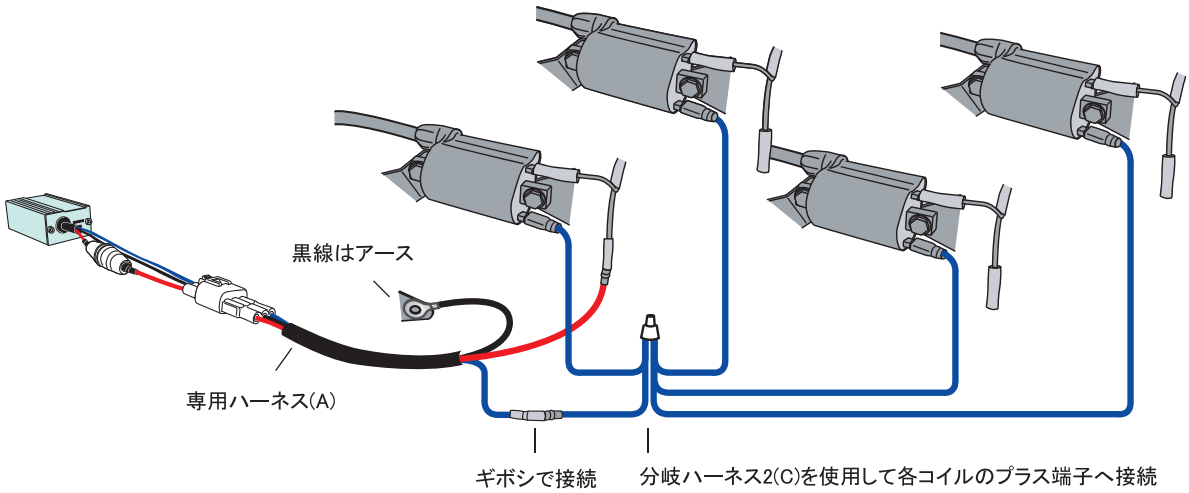
装着概要　[2～4コイルのダイレクトイグニッション車両へ装着]

※説明の図は4コイルとなりますが、2～3コイルについても同様の作業を行ってください



装着概要　[3～4コイルのプラグコード付きイグニッション車両へ装着]

※説明の図は4コイルとなりますが、3コイルについても同様の作業を行ってください



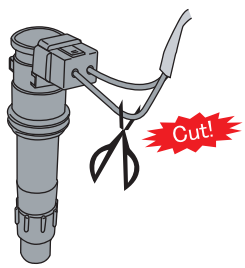
1 コンピューターの初期化と安全のため、バッテリーのマイナス端子を取り外してください。

2 イグニッションコイルが見えるよう、カウルや燃料タンクを取り外してください。

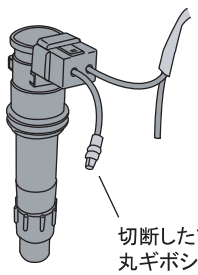
3 イグニッションコイルのプラス線へ分岐ハーネス2(C)を取り付けます。以下の通りに作業を行ってください。
分岐ハーネス2の長さは3種類に分かれています。一番短い配線は専用ハーネス(B)の青線と接続し、その他4本はイグニッションコイルの
プラス線またはプラス端子へ接続しますので装着される車両に合わせて使い分けてください。

[2～4コイルのダイレクトイグニッション車両の場合]

①全てのイグニッションコイルのプラス線を切断します。
この時、コイル側の配線が短くなりすぎないようご注意ください。



②切断したプラス線(コイル側)に丸ギボシ/オス(G)と
丸ギボシチューブ/オス(H)を取り付けてください。



無断転載を禁じます

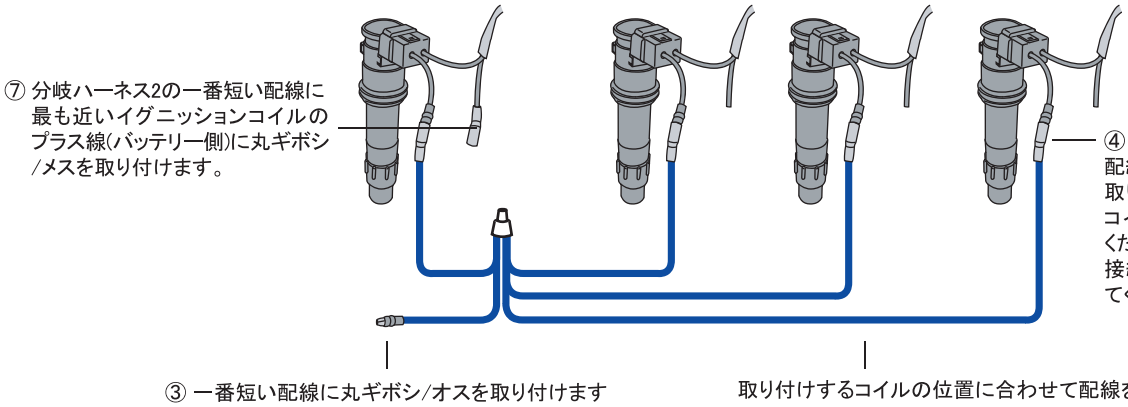
③分岐ハーネス2の一番短い配線に丸ギボシ/オス(G)と丸ギボシチューブ/オス(H)を取り付けてください。

④分岐ハーネス2の配置場所を決めた後、残りの配線を②で取り付けたイグニッションコイルの丸ギボシ/オスまで取り回し、長すぎる場合はちょうど良い長さになるようカットしてください。

⑤取り回した配線に丸ギボシ/メス(E)と丸ギボシチューブ/メス(F)を取り付けてください。

⑥イグニッションコイルに取り付けた丸ギボシ/オスと分岐ハーネス2に取り付けた丸ギボシ/メスを接続してください。

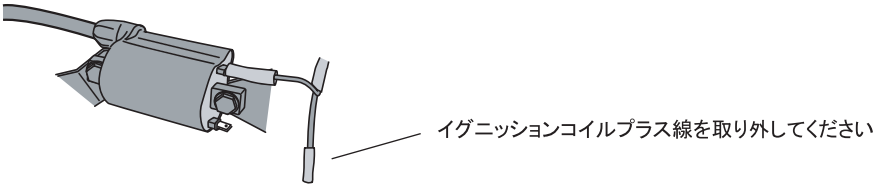
⑦分岐ハーネス2の一番短い配線に最も近いイグニッションコイルのプラス線(バッテリー側)に、丸ギボシ/メス(E)と丸ギボシチューブ/メス(F)を取り付けてください。



※コイル数によっては使用しない分岐ハーネス2の配線があります。
使用しない配線は適当な長さで切断していただき、配線の先端をビニールテープなどを巻いて絶縁してください。

[3～4コイルのプラグコード付き車両の場合]

①全てのイグニッションコイルからプラス線を取り外してください

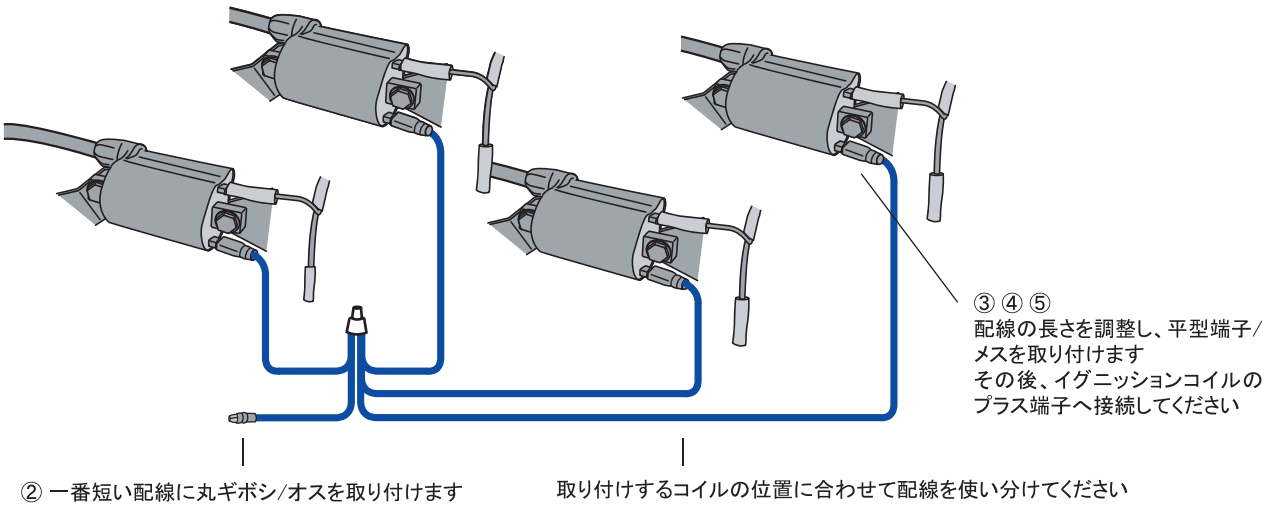


②分岐ハーネス2の一番短い配線に丸ギボシ/オス(G)と丸ギボシチューブ/オス(H)を取り付けます。

③分岐ハーネス2の配置場所を決めた後、残りの配線をイグニッションコイルのプラス端子まで取り回し、長すぎる場合はちょうど良い長さになるようカットしてください。

④取り回した配線に平型端子/メス(Ｉ)と平型端子チューブ/メス(J)を取り付けてください。

⑤分岐ハーネス2に取り付けた平型端子/メスをイグニッションコイルのプラス端子へ取り付けてください。

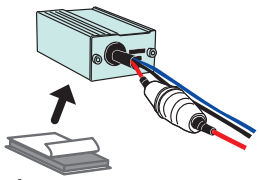


※コイル数によっては使用しない分岐ハーネス2の配線があります。
使用しない配線は適当な長さで切断していただき、配線の先端をビニールテープなどを巻いて絶縁してください。

無断転載を禁じます

4 プラズマVプラス本体を、付属の両面テープ(D)を使用して水が当たらない場所へ取り付けてください。
なお、マフラー周辺部分や燃料ホース・パイプ等の燃料系付近には絶対に取り付けないでください。

付属の両面テープを使用して本体を固定してください



両面テープ

⚠ 注意 必ずお守りください！

・プラズマVプラス本体は完全防水となっておりませんので、水が当たる場所への取り付けは絶対に行わないでください。
・プラズマVプラスは発熱しますので熱の影響を受けると不具合を起こす機器の近くへは設置しないでください。
・エンジン・マフラー周辺の高温部、回転部、及び燃料ホース・パイプ等の燃料系統付近に固定しないでください。
製品破損や車両火災、事故の原因となります。

5 プラズマVプラス本体と専用ハーネス(A)を接続してください。

6 専用ハーネス(A)を3項で取り付けた分岐ハーネス2(C)の一番短い配線まで取り回してください。
ハーネスが長すぎる場合はカットし、ちょうど良い長さになるように調整してください。

【 各配線は以下の箇所へ接続しますので予めご確認のうえ、配線を調整してください 】

・赤線 ・・・ ●2～4コイルのダイレクトイグニッション車両の場合
3項-⑦で取り付けた、イグニッションコイルのプラス線(バッテリー側)の丸ギボシ/メスと接続します

●3～4コイルのプラグコード付き車両の場合
3項-②で取り付けた、分岐ハーネス2の一番短い配線に最も近いイグニッションコイルのプラス線と接続します

・青線 ・・・ 分岐ハーネス2の一番短い配線に取り付けた丸ギボシ/オスと接続します

・黒線 ・・・ エンジン又はフレームへアース接続します

⚠ 注意 配線長さにご注意ください！

専用ハーネスの黒線はアース線となります。青線や赤線と同じ長さでカットしてしまうと短くなってしまう場合がありますので、取り付ける位置を決めた後にカットしてください。

⚠ 注意 必ずお守りください！

専用ハーネスはエンジン・マフラー周辺の高温部、回転部、及び燃料ホース・パイプ等の燃料系統付近に配線しないでください。製品破損や車両火災、事故の原因となります。

7 専用ハーネス(A)の赤線に平型端子または丸ギボシを取り付けてください。取り付けを行う車両によって取り付け部品が異なりますのでご注意ください。

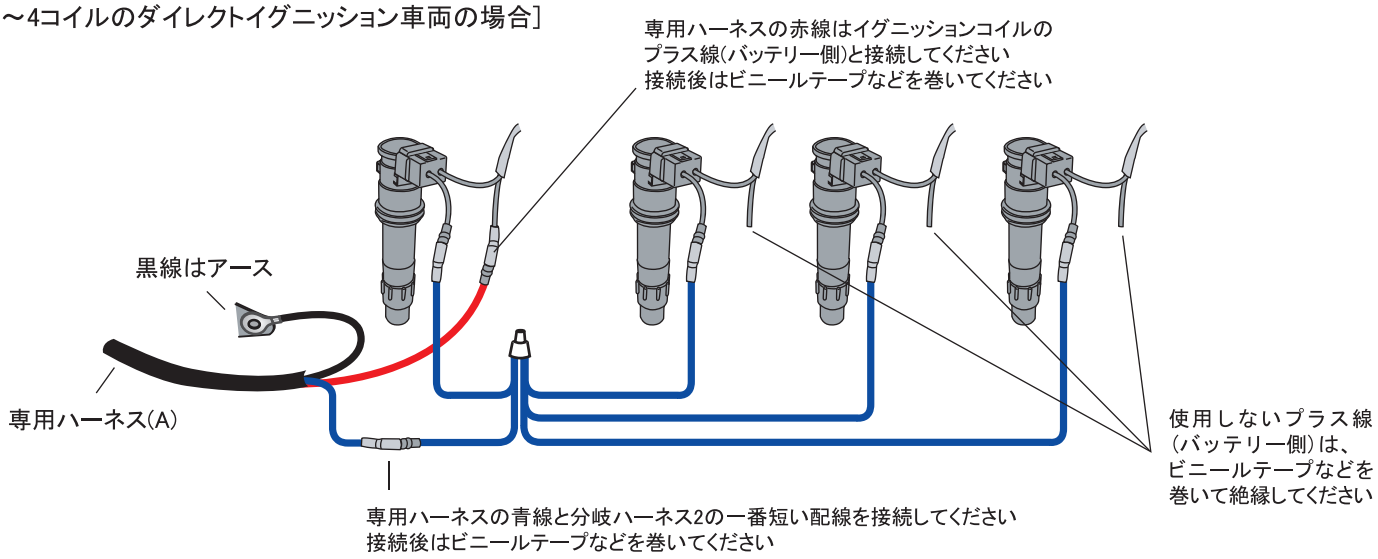
●2～4コイルのダイレクトイグニッション車両の場合 ・・・ 専用ハーネスの赤線に丸ギボシ/オス(G)と丸ギボシチューブ/オス(H)を取り付けてください
●3～4コイルのプラグコード付き車両の場合 ・・・ 専用ハーネスの赤線に平型端子/オス(K)と丸ギボシチューブ/オス(H)を取り付けてください

8 専用ハーネス(A)の青線に丸ギボシ/メス(E)と丸ギボシチューブ/メス(F)を取り付けてください。

9 専用ハーネス(A)の黒線に丸型端子(L)を取り付けてください。

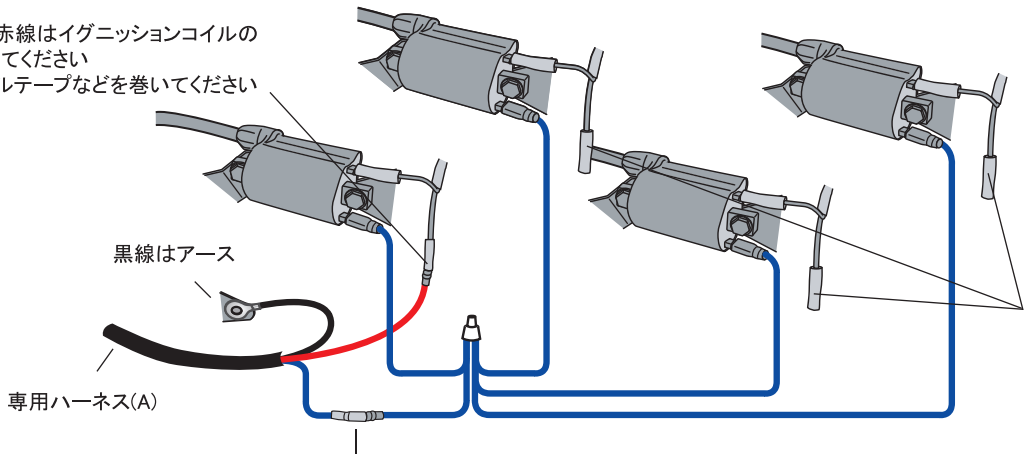
10 下図を参考にそれぞれの線を取り付けてください。

[2～4コイルのダイレクトイグニッション車両の場合]



無断転載を禁じます

[3～4コイルのプラグコード付車両の場合]



10 取り付けが正常であれば、イグニッションキーをONにするとプラズマVプラス本体のLEDが点灯します。
LEDが点灯している場合は、エンジンを始動して異常のないことを確認して下さい。
LEDが点灯しない場合は取り付けに問題がありますので、再度取り付け方法のご確認を行ってください。

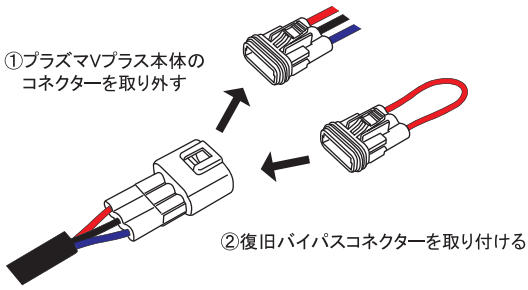
プラズマVプラスが故障してしまった場合は

万が一、プラズマVプラスが故障してしまった場合は、
付属の復旧バイパスコネクターを使用してノーマル復旧してください。

⚠ 注意 必ずお守りください！

プラズマVプラスご使用時には必ず復旧バイパスコネクターを携帯してください。

[復旧バイパスコネクターの取り付け方法]



お問い合わせ

OKADA PROJECTS

有限会社OKADA PROJECTS
〒213-0005 神奈川県川崎市高津区北見方2-3-5
TEL 044-822-3341 FAX 044-822-3342
E-mail:info@okadaprojects.com
URL:www.okadaprojects.com

無断転載を禁じます